

後期後半の学校生活が始まりました

令和8年(2026年)になりました。佳き春をお迎えのこととお慶び申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今日から、後期後半の学校生活が始まりました。18日間の冬休みをはさんで子供たちに出会くと、少し大きくなっているように、また表情も凛々しく見えました。新年を迎えて、気持ちも新たに登校してきたように感じます。

新年を迎え、新しい目標をたてることがあると思いますが、皆様はいかがでしょう。私事ですが、年末に昨年の目標を書いたものを見て、半分は達成し、半分は手も付けないという状態を反省し、本年を迎えました。そして、新たに本年の目標をたてました。目標を達成することは、小さなことの積み重ねが大事だと自分に言い聞かせ、日々の生活を丁寧に過ごしていきたいと思います。

子供たちは、日々の生活の中で、まわりの人に気付かれないほどの小さな変化を積み重ねながら成長しています。「話を聞き逃さないように、話している人の顔を見て聞こう」「一つのことに集中して、じっくりと考えた」「友達に『遊ぼう』と思い切って声をかけてみた」そうした一つ一つの姿こそが、大きな目標に繋がる大切な一歩です。私たち教職員も、子供たちの小さな成長を見逃さず、ともに喜び合える学校づくりを進めて参りたいと思います。

後期後半は、1～3月の3ヶ月。「1月はいく、2月はにげる、3月はさる」という言葉どおりにあっという間に過ぎ去ってしまいそうです。気を引き締めて過ごしていきたいと思います。保護者の皆様には、様々な面でお力添えをいただくことと存じます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

【後期後半の主な行事予定】

保護者の方にはメール配信でお知らせしています。

今年も、心を大きく、志を大きく成長しましょう。

附ぞクジラ



(文責 齋藤 昌代)

